

湘南リビング2018.10.13号掲載

お役立ち

医療コラム vol. 5

女性のがん死因 1位“大腸がん”は 症状の有無に関わらず 検査が重要！

茅ヶ崎徳洲会病院



橋本雅彦先生（日本外科学会認定外科専門医、消化器内視鏡学会認定消化器内視鏡専門医）

茅ヶ崎を拠点に周辺地域の医療を支える中核病院として、もしもの時は365日・24時間対応の「茅ヶ崎徳洲会病院」。今回は、日本人の死亡原因1位となる「がん」の中でも増加傾向の大腸がんについて、消化器外科消化器センター長の橋本先生に聞きました。

「がん」の中でも、かつては男女ともに胃がんが1位でしたが、生活スタイルの欧米化などもあり、女性では大腸がんがトップ、男性では3位です。しかし大腸がんは、早期発見・治療なら高い確率で根治も望めます。『自覚症状はありません』「早期の場合、自覚症状はほとんどなく、血便があっても痔と自己判断して治療が遅れる場合もあります。また、予防法は確立されていません。そこで、罹患率が増加する40歳を目安に、症状の

有無に関わらず検査をする必要があります」
「どのような検査ですか」
「自治体などで行われている『便潜血検査』では進行がんでも発見できない場合があります。内視鏡やバリウム検査などを定期的に行う必要があります。どちらもお尻から検査で、特に女性は受診をためらう方も多いですが、内視鏡検査ならポリープの状態によっては同時に切除も行えます」
「内視鏡の検査手順は？」
「検査前の準備はバリウム検査も同様で、前日の夕食は食事を少なめに早めに済ませて下剤を服用。当日の朝は絶食して約20の腸管洗浄剤を飲み、2〜3時間かけて大腸がきれいになったら内視鏡検査を行います。検査は個人差もありますが15分程度で終了し、状況に合わせて鎮静剤や鎮痛剤を使用します。当センターでは内視鏡的診断・治療から外科的治療まで一貫して行い、また積極的にセカンドオピニオンも実施しています」

問い合わせ／茅ヶ崎徳洲会病院

☎0467-58-1311

茅ヶ崎市幸町14-1(茅ヶ崎駅南口徒歩5分)

問い合わせ＝平日・土曜(午前のみ)8:15～

12:00、16:30～18:30。駐車場140台

茅ヶ崎徳洲会病院

検索